



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

1月30日発行 No.12
小金井市前原町3-4-22
TEL 042-383-1146
FAX 042-382-2046
HP: <https://www.maehara.school>

活発な対話を引き出す指導の工夫～学びの深まりを実感できる算数の授業を目指して～

副校長 板澤 絢子

★令和6、7年度小金井市研究奨励校 研究発表会★

2月13日に「活発な対話を引き出す指導の工夫～学びの深まりを実感できる算数の授業を目指して～」という研究テーマで2年間にわたる研究の成果を発表します。当日は市内全小学校の教員と中学校区の南中教員、他地区の教員や他県の教員も参観しに来校します。

昨年の2月の巻頭言に『対話』活動に着目して研究していることをお伝えしました。対話活動の必要性は、児童一人一人が自分の考えを言語化し、友達の考えと比べたり、つなげたりする中で、理解を深めていける点にあります。対話を通して、多様な考え方に触れることで、自分の考えを見直したり、新たな視点を得たりすることができます。また、理由を説明したり、問い返したりする経験を重ねることで、思考力や表現力が育まれ、主体的に学ぶ姿勢につながります。

今年度は、次の4つを意識して指導しました。1【問題提示の工夫】どのような問題・問題の提示の仕方であれば主体的に対話したくなるか、2【一往復半の対話】発達段階に応じたマエハラレスポンス（友達の意見に対する反応の言葉を集めた掲示物）を活用、3【問い返し（教師からの切り返しの発問）の工夫】答えを導く問い返しや話を深める問い返し、4【学びの深まりを実感できる振り返りの工夫】発達段階に応じた振り返りの視点を提示する、この4つです。研究発表会当日は、教員も研修を重ねて試行錯誤を重ねながら積み上げた授業を行います。研究発表のための研究ではなく、これからの指導に生かすことができるよう教職員一同、頑張ります。

◆道徳授業地区公開講座及び学校公開◆

1月17日（土）4時間目に道徳授業地区公開講座・意見交流会を行いました。大人が道徳教育について考える資料で東京都教育委員会が作成した動画を基にして話し合いを行いました。

【道徳授業地区公開講座・意見交流会】

＜今回のテーマ＞ 「親近なことをしたのに・・・～きまりを守ること、親切にすること、どちらが大事？～」

【動画内容】 ※皆さんだったら、どのように考えるのでしょうか。

バスの運転手が時間通りにバスを停留所に停車させました。その後、時間通りにバスを発車させようとしたところ、杖を付いた高齢の男性がバスに乗るためにバスに向かって速足で歩いています。運転手は、サイドミラーでその様子を確認したため、停留所で少しの間その高齢の男性を待ち、無事に乗車させてから発車しました。その日、会社に戻ると上司から「発車時間に遅れが出ている。時間通りにバスを運行するように。会社にクレームが入っている。」と指導されます。

次の日、今度は停留所から発車してすぐの場所にある信号を待っていると、ベビーカーを押した女性が運転手に向かって手を上げ乗車意思の合図を送っています。運転手は、昨日のことを思い出し首を振りバスの扉を開けませんでした。次の停留所に停車した際、前日と同じ時間帯に乗車していた小学生の女兒に「なぜ昨日はおじいさんを待って乗せてあげたのに、今日は乗せてあげなかったのですか？」と質問されます。（続く・・・）

——意見交流会より——

バスの運行に関する安全面はもちろんのこと、その場の状況、その人の立場、アナウンスによる情報の共有など、互いが気持ちよく生活していくためにどうすればよいのか考える貴重な時間となりました。ぜひ、ご家庭でも「きまり」「親切」について話題にしてください。

